SONY®

4-135-540-**01** (1)

Data Projector

VPL-EX70
VPL-EX7
VPL-ES7

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～7ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に一度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コード、接続ケーブルを使う

付属の電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。
- プロジェクターの下に布や紙を敷かない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

JP

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き､または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け､移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付け、移動は必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下し大けがの原因となります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

長時間の外出､旅行の時は､電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合はただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てておかない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

アジャスターを調整する場合は、アジャスターに手などが触れないよう慎重に行ってください。アジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換に合わせて、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

電源コード／接続ケーブルに足をひっかけない

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけるとプロジェクターが倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

プロジェクターの後面にある盗難防止用バーには市販の盗難防止ワイヤーを取り付けるなどの目的で使用してください。
この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬する際は、キャリングケースを使用する

本機をキャリングケースに入れずに運搬すると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

充分に冷えた状態でキャリングケースに収納する

電源を切った直後に本機をキャリングケースに収納すると、熱がこもるためキャビネットの温度が上がり、次に本機を取り出す際にやけどの原因となります。
本機をキャリングケースに収納する際は、クーリングが終了し、ファンが止まってから充分冷えた状態で収納してください。

エアーフィルターカバーをつかんで持たない

本機をエアーフィルターカバー部分をつかんで持ち上げると、不意にエアーフィルターカバーが外れて本機が落下し、けがや故障の原因となることがあります。

アジャスターを運搬や吊り下げ目的で使用しない

アジャスターは本機の傾きを調整する目的でのみ使用してください。運搬用の把手代わりに使用したり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、本機が落下してけがや故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

・ 乳幼児の手の届かないところに置く。
・ 電池は充電しない。
・ 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
・ 電池の（＋）と（－）を正しく入れる。
・ 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
・ 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
・ ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
・ 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
・ 電池に直接はんだ付けをしない。
・ 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
・ 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠注意

・ 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
・ 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
・ 電池を水で濡らさない。
・ ショートさせないように機器に取り付ける。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

・ 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
・ 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
・ 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

火災

感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから１時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

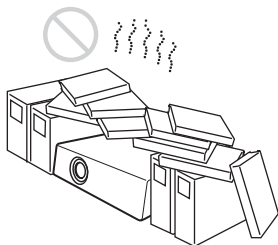
本機または使用済みランプを廃棄する場合

本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

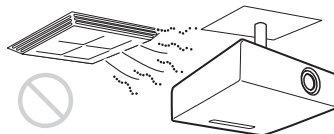
設置に適さない場所

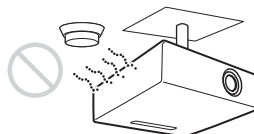
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

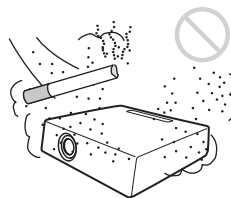
風通しが悪い場所

- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から 30cm 以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

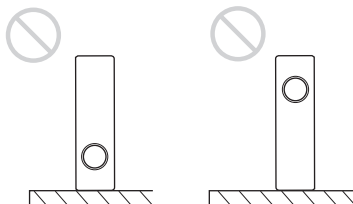
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

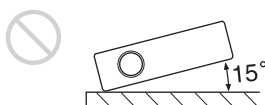
熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

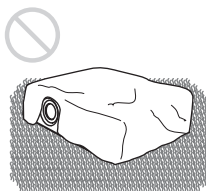
ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

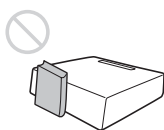
使用に適さない状態

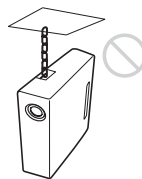
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない

本機を立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない

本機を 15 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

プロジェクターの後面にある盗難防止用バーには、市販の盗難防止ケーブルを取りつけるなど、盗難防止の目的で使用してください。この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下や破損による事故の原因となります。

高地で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの「高地モード」の設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

本機の設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約 2 時間放置しておいてください。

ファンの音について

本機の内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

・集光形のダウンライトにする。
・蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
・太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
・光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターのお手入れについて

・必ず定期的にエアーフィルターのクリーニングをしてください。
・クリーニング方法については、“エアーフィルターをクリーニングする”をご参照ください。

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

・レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
・レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
・汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
・アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

・乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
・アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
・布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
・ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

持ち運びをするときは

本機は精密機器です。本機をキャリングケースに入れて持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。また、本機をキャリングケースに収納する際には、電源コード及び全ての接続ケーブルやカード類をはずし、付属品はキャリングケースの前ポケットに収納してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

ご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

If you have any questions about this product, you may call:
Sony Customer Information Service Center
1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name: SONY
Model: VPL-EX70,VPL-EX7, VPL-ES7
Responsible Party: Sony Electronics Inc.
Address: 16530 Via Esprillo,
San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number: 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m (4 ft .11in.), Less than 4.5 m (14 ft .9 5/8 in.)
Rating	Minimum 10A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.
To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord /Appliance Connector /Plug, please consult a qualified service personnel.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See
www.dtsc. ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material: Lithium battery contains perchlorate.

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

GB

Precautions

Safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected to the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes. The air coming out is hot.
- Be careful not to get your fingers caught in the adjuster.
- Do not spread a cloth or paper under the unit.

Illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the unit in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

Preventing internal heat build-up

The unit is equipped with ventilation holes (intake) and ventilation holes (exhaust). Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the projector.

Cleaning

Before cleaning

Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet.

Cleaning the air filter

- Clean the air filter whenever you replace the lamp.
- Refer to the “Cleaning the Air Filter” for the air filter cleaning.

Cleaning the lens

The lens surface is especially treated to reduce reflection of light.
As incorrect maintenance may impair the performance of the projector, take care with respect to the following:

- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Wipe the lens gently with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth.
- Stubborn stains may be removed with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth lightly dampened with water.
- Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or chemical cleaning cloth, as they will damage the lens surface.

Cleaning the cabinet

- Clean the cabinet gently with a soft dry cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with mild detergent solution, followed by wiping with a soft dry cloth.
- Use of alcohol, benzene, thinner or insecticide may damage the finish of the cabinet or remove the indications on the cabinet. Do not use these chemicals.

- If you rub on the cabinet with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the cabinet is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the finish of the cabinet may deteriorate or the coating may come off.

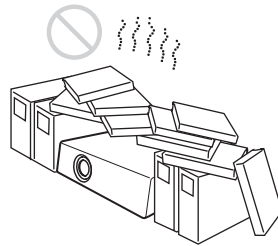
LCD data projector

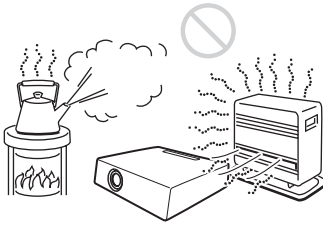
- This LCD data projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that appear continuously on the LCD data projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction

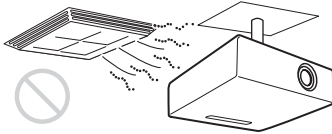
Notes on Installation and Usage

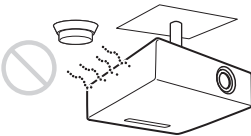
Unsuitable Installation

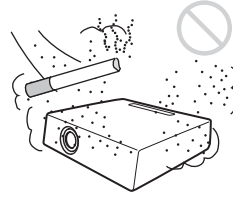
Do not install the projector in the following situations. **Installation is these situations or locations may cause a malfunction or damage** to the unit.

Poorly ventilated locations

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. When internal heat builds up due to blockage of ventilation holes, the temperature sensor will function, and the power will be turned off automatically.
- Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) around the unit.
- Be careful not to allow the ventilation holes to inhale tiny objects such as pieces of paper or clumps of dust.

Hot and humid

- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or the temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

Locations subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing the projector in such a location may cause a malfunction of the unit due to moisture condensation or a rise in temperature.

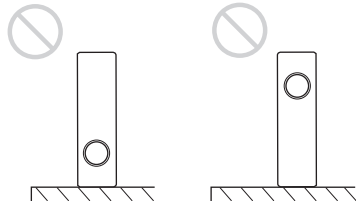
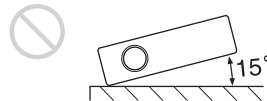
Near a heat or smoke sensor

Malfunction of the sensor may occur.

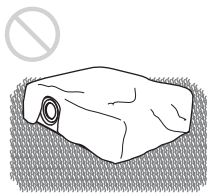
Very dusty, extremely smoky locations

Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit.

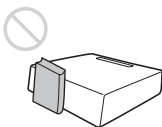
Unsuitable Conditions

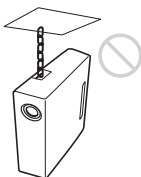
Do not use the projector under the following conditions.

Do not stand the unit upright on one side

Avoid using the unit standing upright on its side. It may cause malfunction.

Do not tilt the unit to the right or left

Avoid tilting the unit to an angle of 15°, and avoid installing the unit in any way other than placing it on a level surface or suspending from the ceiling. Such an installation may cause color shading or shorten the lamp life excessively.

Do not block the ventilation holes

Avoid using a thick-piled carpet or anything that covers the ventilation holes (exhaust/intake); otherwise, internal heat may build up.

Do not place a blocking object just in front of the lens

Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the PIC MUTING key to cut off the picture.

Do not use the Security bar for transporting or installation

Use the Security bar at the rear of the projector for a purpose of preventing theft, by attaching a commercially available theft prevention cable for example. If you lift the projector by holding the Security bar, or hang the projector by using this bar, it may cause the projector to fall or be damaged.

Usage at High Altitude

When using the projector at an altitude of 1,500 m or higher, turn on "High Altitude Mode" in the INSTALL SETTING menu. Failing to set this mode when using the projector at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

Notes on Use

Note on carrying the projector

The unit is manufactured using high-precision technology. When transporting the unit stored in the carrying case, do not drop the unit or subject it to shock, as this may cause damage. When storing the unit in the carrying case, disconnect the AC power cord and all other connecting cables or cards, and store the supplied accessories in a pocket of the carrying case.

Note on the screen

When using a screen with an uneven surface, a striped pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the projector or the zooming magnification settings used. This is not a malfunction of the projector.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

ATTENTION

Danger d'explosion si la batterie n'est pas replacée correctement. Remplacez-la uniquement avec le même type ou un type équivalent recommandé par le fabricant. Disposez des batteries usagées selon les instructions du fabricant.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)

Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre appareil est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet quelconque venait à pénétrer dans le boîtier, débranchez le projecteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant la remise en service.
- Débranchez le projecteur de la prise murale si vous n'avez pas l'intention de l'utiliser pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- Le projecteur n'est pas déconnecté de la source d'alimentation (secteur) tant qu'il reste branché à la prise murale, même s'il a été mis hors tension.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne placez pas la main ou des objets à proximité des orifices de ventilation. L'air expulsé est brûlant.
- Veillez à ne pas vous prendre les doigts dans le dispositif de réglage d'inclinaison.
- Ne mettez pas du tissu ou du papier sous le projecteur.

Éclairage

- Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.
- Nous préconisons un éclairage au moyen de spots fixés au plafond. Masquez les lampes fluorescentes pour éviter une altération du niveau de contraste.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement de sol et mural par un de couleur sombre.

Prévention de la surchauffe interne

Le projecteur est équipé d'orifices de ventilation (prise d'air) et d'orifices de ventilation (sortie d'air). N'obstruez pas ces orifices et ne placez rien à proximité car ceci risquerait de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner une altération de l'image ou des dommages au projecteur.

Nettoyage

Avant le nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation secteur de la prise secteur.

Nettoyage du filtre à air

- Nettoyez le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.
- Voir « Nettoyage du filtre à air » pour le nettoyage du filtre à air.

Nettoyage de l'objectif

La surface de l'objectif a été soumise à un traitement spécial destiné à réduire la réflexion de la lumière.
Un entretien incorrect peut réduire les performances du projecteur. Veillez à respecter ce qui suit :

- Evitez de toucher l'objectif. Pour dépoussiérer l'objectif, employez un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
- Passez un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) sur l'objectif, sans frotter.
- Eliminez les taches tenaces avec un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) légèrement imprégné d'eau.
- N'utilisez jamais de solvants tels que l'alcool, le benzène, les diluants ou les détergents acides, alcalins ou abrasifs, ni un chiffon de nettoyage chimique, car ils risqueraient d'endommager la surface de l'objectif.

Nettoyage du boîtier

- Nettoyez le boîtier avec un chiffon doux et sec. Eliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez avec un chiffon doux et sec.
- L'utilisation d'alcool, de benzène, de diluants ou d'insecticide risque d'endommager la finition du boîtier ou d'effacer les indications figurant sur ce dernier. N'utilisez pas ces produits chimiques.
- Si vous frottez le boîtier avec un chiffon sale, vous risquez de le griffer.
- En cas de contact prolongé du boîtier avec du caoutchouc ou de la résine vinylique, la finition risque de se détériorer ou le revêtement de se décoller.

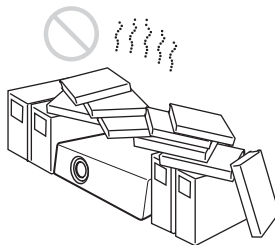
Projecteur LCD

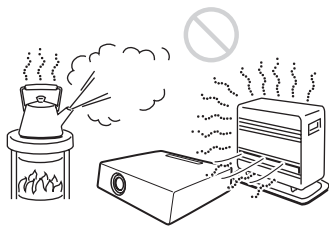
- Le projecteur LCD est fabriqué avec une technologie de haute précision. Il est cependant possible que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) soient visibles en permanence sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.

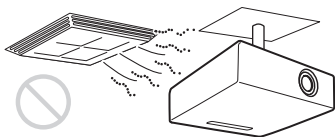
Remarques sur l'installation et l'utilisation

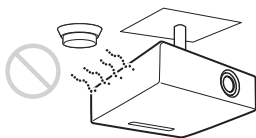
Installation déconseillée

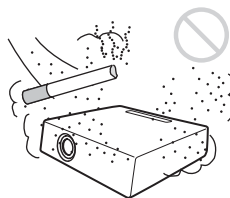
N'installez pas le projecteur dans les conditions ci-dessous. **Une installation dans de telles conditions ou sur de tels emplacements pourrait provoquer un dysfonctionnement ou endommager** le projecteur.

Mauvaise ventilation

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation. En cas de surchauffe interne due à une obstruction des orifices de ventilation, le capteur de température est activé et le projecteur se met automatiquement hors tension.
- Laissez un espace libre de plus de 30 cm (11 7/8 pouces) autour du projecteur.
- Veillez à ce que les orifices de ventilation n'aspirent pas de petites particules telles que fragments de papier ou boules de poussière.

Endroits chauds et humides

- N'installez pas le projecteur dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas le projecteur dans un endroit où la température est susceptible d'augmenter rapidement.

Endroits directement exposés au souffle froid ou chaud d'un climatiseur

L'installation du projecteur dans de tels endroits pourrait provoquer un dysfonctionnement sous l'effet de la condensation d'humidité ou de l'élévation de température.

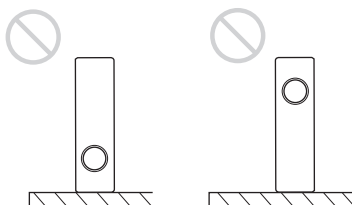
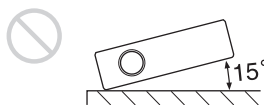
Proximité d'un détecteur de chaleur ou de fumée

Il pourrait en résulter un dysfonctionnement du capteur.

Endroits très poussiéreux ou enfumés

N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur. La poussière colmatée ferait obstacle au passage de l'air à travers le filtre et il en résulterait une surchauffe interne du projecteur.

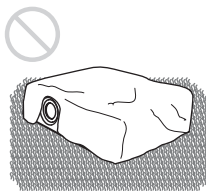
Conditions déconseillées

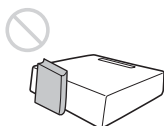
N'utilisez pas le projecteur dans les conditions suivantes.

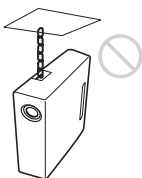
Ne posez pas l'appareil debout sur un côté

N'utilisez pas le projecteur debout sur son côté. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement.

N'inclinez pas l'appareil sur la droite ou sur la gauche

N'inclinez pas le projecteur à plus de 15º et ne l'installez pas autrement que sur une surface horizontale ou suspendu au plafond. Une telle installation pourrait provoquer des

taches de couleurs ou raccourcir excessivement la durée de vie de la lampe.

Ne bloquez pas les orifices de ventilation

Évitez les tapis touffetés épais ou tout ce qui pourrait obstruer les orifices de ventilation (sortie d'air/prise d'air). Le projecteur risquerait autrement de surchauffer.

Ne placer aucun objet pouvant faire obstacle juste devant l'objectif

Ne placez aucun objet juste devant l'objectif qui pourrait bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque d'endommager l'objet. Utilisez la touche PIC MUTING pour supprimer l'image.

N'utilisez pas la barre antivol pour le transport ou l'installation

Utilisez la barre antivol située à l'arrière du projecteur pour le protéger contre le vol, en fixant un câble de protection contre le vol disponible dans le commerce par exemple. Si vous soulevez le projecteur en tenant la barre antivol, ou si vous suspendez le projecteur à l'aide de cette barre, il risque de tomber ou d'être endommagé.

Utilisation à haute altitude

Si vous utilisez le projecteur à une altitude de 1 500 m ou supérieure, activez « Mode haute altit. » dans le menu RÉGLAGE D'INSTALLATION. Si vous n'activez pas ce mode lors d'une utilisation à haute altitude, ceci pourra affecter le projecteur (diminution de la fiabilité de certaines pièces, par exemple).

Remarques sur l'utilisation

Remarque sur le transport du projecteur

Le projecteur est fabriqué avec une technologie de haute précision. Lorsque vous le transportez dans la mallette de transport, veillez à ne pas le faire tomber et à ne pas le soumettre à des chocs car ceci pourrait l'endommager. Lorsque vous rangez le projecteur dans la mallette de transport, débranchez le cordon d'alimentation secteur et les autres câbles de raccordement ou cartes et rangez les accessoires fournis dans une poche de la mallette de transport.

Remarque sur l'écran

Si l'écran utilisé présente une surface irrégulière, il se peut, dans de rares cas, qu'un motif rayé apparaisse sur l'écran à certaines distances du projecteur ou certains réglages du zoom. Ceci n'est pas un dysfonctionnement du projecteur.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

IMPORTANTE
La placa de características está situada en la parte inferior.

ADVERTENCIA
Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte la clavija de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte las clavijas de alimentación.

PRECAUCIÓN
Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante. Deseche las baterías usadas siguiendo las instrucciones del fabricante.

ADVERTENCIA
1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Para los clientes de Europa
El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)

Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que deben entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado correctamente, ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, por favor, contacte con su ayuntamiento, su punto de recogida más cercano o el distribuidor donde ha adquirido el producto.

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA (toma de corriente) mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale es caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador.
- No ponga paños o papeles bajo la unidad.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Se recomienda utilizar una luz proyectora en el techo. Cubra las lámparas fluorescentes para evitar que se produzca una disminución en la relación de contraste.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar la unidad en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechos de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención del calentamiento interno

La unidad está equipada con orificios de ventilación de aspiración y de escape. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños al proyector.

Limpieza

Antes de la limpieza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación de la toma de CA.

Limpieza del filtro de aire

- Limpie el filtro de aire siempre que sustituya la lámpara.
- Remítase a “Limpieza del filtro de aire” para la limpieza del filtro de aire.

Limpieza del objetivo

La superficie del objetivo del monitor está tratada especialmente para reducir el reflejo de la luz.
Un mantenimiento incorrecto puede afectar al rendimiento del proyector, por lo que se debe tener en cuenta lo siguiente:

- Evite tocar el objetivo. Utilice un paño seco y suave para eliminar el polvo del objetivo. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni disolventes.
- Limpie suavemente el objetivo con un paño suave como un trapo o una gamuza.
- Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave, como un trapo o una gamuza, ligeramente humedecido con agua.
- No utilice nunca disolventes como alcohol, benceno o disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos, ya que dañarán la superficie del objetivo.

Limpieza del exterior de la unidad

- Limpie cuidadosamente la carcasa con un paño suave y seco. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave y, a continuación, pasando un paño seco y suave.
- El uso de alcohol, benceno, disolventes o insecticidas puede dañar el acabado de la carcasa, o borrar las indicaciones de la carcasa. No utilice estos productos químicos.
- Si se frota la carcasa con un paño sucio, la carcasa puede rayarse.
- Si la carcasa entra en contacto con goma o resina de vinilo durante un periodo de tiempo prolongado, el acabado de la carcasa podría deteriorarse y el recubrimiento podría desprenderse.

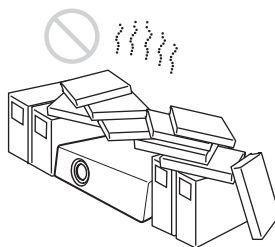
Proyector de datos LCD

- Este proyector de datos LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros, brillantes (rojos, azules o verdes) o ambos, de forma continua, en el proyector de datos LCD. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.

Notas sobre la instalación y el uso

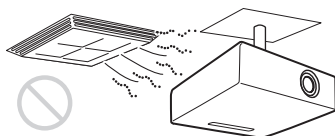
Instalación inadecuada

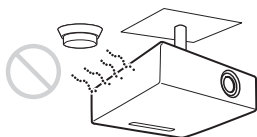
No instale el proyector en las siguientes situaciones. **La instalación en estas situaciones o ubicaciones puede provocar averías o daños** a la unidad.

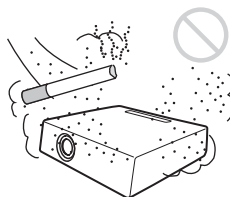
Ubicaciones escasamente ventiladas

- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación. Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios de ventilación, el sensor de temperatura se activará y la alimentación se desactivará automáticamente.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 7/8 pulgadas) alrededor de la unidad.
- Tenga cuidado de evitar que los orificios de ventilación inhalen pequeños objetos tales como pedazos de papel o pelusas.

Lugares cálidos y húmedos

- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

Lugares expuestos a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aire acondicionador

Si instala el proyector en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o al aumento de temperatura.

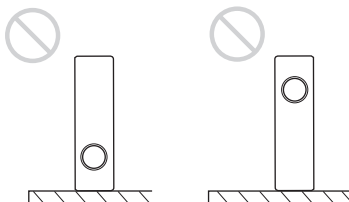
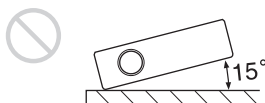
Cerca de un sensor de calor o de humo

Puede producirse una avería del sensor.

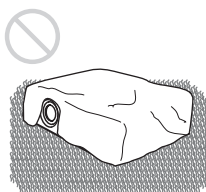
Lugares con mucho polvo o humo excesivo

Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro de aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente.

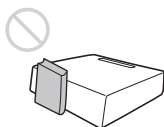
Condiciones inadecuadas

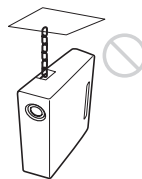
No emplee el proyector en las siguientes condiciones.

No coloque la unidad en posición vertical sobre un lateral

Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada en un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

No incline la unidad a la izquierda o a la derecha

Evite inclinar la unidad hasta un ángulo de 15°, así como instalarla en cualquier lugar que no sea sobre una superficie plana o suspendida del techo. Una instalación así puede provocar sombras de color o acortar excesivamente la vida de la lámpara.

No bloquee los orificios de ventilación

Evite utilizar alfombras gruesas ni cualquier otra cosa que cubra los orificios de ventilación (escape/aspiración); de lo contrario, es posible que se produzca un recalentamiento interno.

No coloque ningún objeto que bloquee el objetivo justo delante del objetivo

No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla PIC MUTING para interrumpir la imagen.

No utilice la barra de seguridad para el transporte o la instalación

Utilice la barra de seguridad en la parte trasera del proyector para evitar el robo colocando, por ejemplo, un cable de antirrobo de venta comercial. Si levanta el proyector sujetándolo por la barra de seguridad o lo cuelga con esta barra, el proyector podría caerse o sufrir daños.

Uso a altitudes elevadas

Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, active el “Modo gran altitud” en el menú AJUSTE INSTALACIÓN. Si no se establece este modo cuando se utiliza el proyector a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

Notas sobre la utilización

Nota sobre el transporte del proyector

La unidad se ha fabricado con tecnología de alta precisión. Cuando transporte la unidad almacenada en la maleta de transporte, no permita que se caiga ni sufra ningún golpe, ya que puede dañarse. Cuando almacene la unidad en la maleta de transporte, desconecte el cable de alimentación de CA, todos los demás cables de conexión y las tarjetas, y almacene los accesorios que se suministran en un bolsillo de la maleta.

Nota sobre la pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y el proyector y de la configuración de

ampliación del zoom. Esto no significa una avería del proyector.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen. Verbrauchte Batterien entsprechend den Anweisungen des Herstellers entsorgen.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Entsorgung von gebrauchten elektrischen und elektronischen Geräten (anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)

Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern an einer Annahmestelle für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft, den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von Ihrer Gemeinde, den kommunalen Entsorgungsbetrieben oder dem Geschäft, in dem Sie das Produkt gekauft haben.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer" oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert". Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Vorsichtsmaßnahmen

Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern. Die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie darauf, dass Sie sich nicht die Finger am Einstellfuß klemmen.
- Stellen Sie das Gerät nicht auf ein Tuch oder Papier.

Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.
- Deckenmontierte Punktstrahler sind zu empfehlen. Decken Sie Leuchtstofflampen ab, um eine Senkung des Kontrastverhältnisses zu vermeiden.
- Verdecken Sie zur Leinwand gewandte Fenster mit undurchsichtigen Vorhängen.
- Es ist wünschenswert, den Projektor in einem Raum zu installieren, dessen Boden und Wände nicht aus lichtreflektierendem Material bestehen. Bestehen Fußboden und Wände aus reflektierendem Material, wird empfohlen, Teppichboden und Tapete durch eine dunklere Art zu ersetzen.

Verhütung eines internen Wärmestaus

Der Projektor ist mit Lüftungsöffnungen (Einlass und Auslass) ausgestattet. Der Luftstrom durch diese Öffnungen darf nicht blockiert oder durch in der Nähe abgestellte Gegenstände behindert werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder Beschädigung des Projektors zur Folge haben kann.

Reinigung

Vor dem Reinigen

Ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.

Reinigen des Luftfilters

- Reinigen Sie den Luftfilter bei jedem Auswechseln der Lampe.
- Informationen zur Luftfilterreinigung finden Sie unter „Reinigen des Luftfilters“.

Reinigen des Objektivs

Die Oberfläche des Objektivs ist speziell behandelt, um die Reflektion von Licht zu verringern.
Da durch falsches Reinigen die Eigenschaften des Projektors beeinträchtigt werden können, sind folgende Hinweise zu beachten:

- Vermeiden Sie eine Berührung des Objektivs. Um Staub vom Objektiv zu entfernen, wischen Sie es mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch, Reinigungsmittel oder Verdünner.
- Reinigen Sie das Objektiv vorsichtig mit einem weichen Tuch, zum Beispiel einem Glasreinigungstuch.
- Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem weichen Tuch, etwa einem Glasreinigungstuch, das leicht mit Wasser angefeuchtet ist.

- Verwenden Sie keinesfalls Lösungsmittel wie Alkohol, Benzol oder Verdünnung, sowie keine säurehaltigen, alkalischen oder abrasiven Reinigungsmittel und auch keine chemischen Reinigungstücher, da andernfalls die Objektivoberfläche beschädigt wird.

Reinigen des Gehäuses

- Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch. Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem Tuch, das mit einer milden Reinigungslösung leicht angefeuchtet ist, und wischen Sie mit einem weichen, trockenen Tuch nach.
- Durch die Verwendung von Alkohol, Benzol, Verdünnung oder einem Insektizid kann die Oberfläche des Gehäuses beschädigt werden, oder die Beschriftungen auf dem Gehäuse können entfernt werden. Daher dürfen diese Chemikalien nicht verwendet werden.
- Durch Abwischen mit einem verschmutzten Tuch kann das Gehäuse zerkratzt werden.
- Bei längerem Kontakt des Gehäuses mit einem Gegenstand aus Gummi oder Vinylharz kann die Oberfläche beschädigt oder die Beschichtung abgelöst werden.

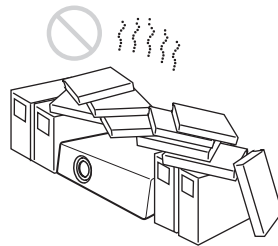
LCD-Datenprojektor

- Der LCD-Datenprojektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Datenprojektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

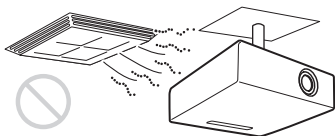
Ungeeignete Installation

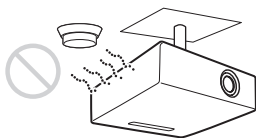
Installieren Sie den Projektor nicht unter den folgenden Bedingungen. **Eine Installation in diesen Situationen oder an diesen Orten kann eine Funktionsstörung oder Beschädigung** des Gerätes verursachen.

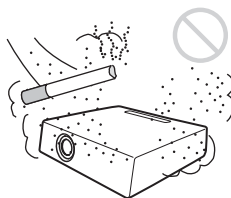
Schlecht belüftete Orte

- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren können. Wenn sich wegen einer Blockierung der Lüftungsöffnungen ein interner Wärmestau bildet, tritt der Temperatursensor in Aktion, und die Stromversorgung wird automatisch ausgeschaltet.
- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine winzigen Gegenstände, wie z.B. Papier- oder Staubpartikel, durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

Heiße und feuchte Orte

- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem Ort, der eine hohe Luftfeuchtigkeit oder sehr hohe oder niedrige Temperaturen aufweist.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.

Orte, die direkter Kalt- oder Warmluft von einer Klimaanlage ausgesetzt sind

Die Installation des Projektors an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung führen, die durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg verursacht wird.

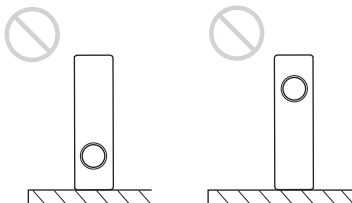
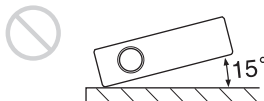
In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

Es kann zu einer Funktionsstörung des Sensors kommen.

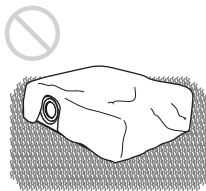
Sehr staubige oder extrem rauchige Orte

Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen.

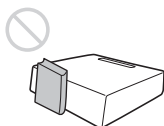
Ungeeignete Bedingungen

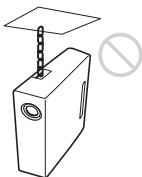
Benutzen Sie den Projektor nicht unter den folgenden Bedingungen.

Den Projektor nicht hochkant auf eine Seite stellen

Stellen Sie den Projektor zum Gebrauch nicht hochkant auf die Seite. Dies kann zu einer Funktionsstörung führen.

Den Projektor nicht nach rechts oder links neigen

Vermeiden Sie Neigen des Projektors auf einen Winkel von 15° oder eine andere Installationsweise als die Aufstellung auf einer ebenen Fläche oder Deckenaufhängung. Eine solche Installation kann Farbschattierung oder eine beträchtliche Verkürzung der Lampenlebensdauer verursachen.

Nicht die Lüftungsöffnungen blockieren

Vermeiden Sie die Benutzung auf einem hochflorigen Teppich oder das Abdecken mit Material, das die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) blockiert, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Kein Hindernis direkt vor dem Objektiv aufstellen

Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um das Bild abzuschalten.

Benutzen Sie den Sicherheitsstift nicht zum Transport oder zur Installation

Benutzen Sie den Sicherheitsstift an der Rückseite des Projektors zum Diebstahlschutz, indem Sie beispielsweise ein handelsübliches Diebstahlschutzkabel daran befestigen. Wenn Sie den Projektor an dem Sicherheitsstift hochheben oder ihn an diesem Stift aufhängen, kann dies zum Herunterfallen des Projektors oder zu Beschädigungen führen.

Benutzung in Höhenlagen

Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, aktivieren Sie den „Höhenlagenmodus“ im Menü ANFANGSWERTE. Wird dieser Modus bei Verwendung des Projektors in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

Hinweise zum Gebrauch

Hinweis zum Tragen des Projektors

Der Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Lassen Sie den Projektor nicht fallen, und setzen Sie ihn auch keinen Erschütterungen aus, wenn Sie ihn in der Tragetasche transportieren, weil er sonst beschädigt werden kann. Wenn Sie den Projektor in der Tragetasche aufbewahren, trennen Sie das Netzkabel und alle anderen Verbindungskabel oder Karten ab, und verstauen Sie das mitgelieferte Zubehör in einem Fach der Tragetasche.

Hinweis zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Projektor oder der verwendeten Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Projektors.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all’umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l’involucro. Per l’assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

AVVERTENZA

Durante l’installazione dell’apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all’apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell’apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

ATTENZIONE

Se una pila non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una pila con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore. Lo smaltimento delle pile usate va effettuato seguendo le istruzioni del produttore.

AVVERTENZA

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l’apparecchio/ spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l’apparecchio/ spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all’uso del cavo di alimentazione/connettore per l’apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l’assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull’assistenza o sulla garanzia a parte.

Trattamento del dispositivo elettrico od elettronico a fine vita (applicabile in tutti i paesi dell’Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)

Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve invece essere consegnato ad un punto di raccolta appropriato per il riciclaggio di apparecchi elettrici ed elettronici. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l’ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate da uno smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per informazioni più dettagliate circa il riciclaggio di questo prodotto, potete contattare l’ufficio comunale, il servizio locale di smaltimento rifiuti oppure il negozio dove l’avete acquistato.

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se liquidi o solidi dovessero cadere sul mobile, scollegare l'unità e farla controllare da personale qualificato prima di usarla nuovamente.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa a muro.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa a muro dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- L'unità non è scollegata dalla sorgente di alimentazione c.a. (rete elettrica) finché è collegata alla presa a muro, anche se l'unità stessa è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non mettere le mani o degli oggetti vicino alle aperture di ventilazione. L'aria che ne fuoriesce è calda.
- Prestare attenzione a non pizzicare le dita nel dispositivo di regolazione.
- Non stendere un panno o della carta sotto l'unità.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.
- Si consiglia illuminazione con faretti sul soffitto. Usare degli schermi sopra alle lampade fluorescenti, per non diminuire il rapporto del contrasto.
- Coprire eventuali finestre davanti allo schermo con tendaggi opachi.
- Si consiglia di installare il proiettore in un locale in cui il pavimento e pareti siano di materiali non riflettenti. Se il pavimento e le pareti fossero di materiali riflettenti, si consiglia di cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Evitare il surriscaldamento interno

L'unità è dotata di aperture di ventilazione di aspirazione e di scarico. Non ostruire o mettere alcun oggetto vicino a queste aperture; potrebbe verificarsi surriscaldamento interno, provocando un peggioramento dell'immagine o danneggiamento del proiettore.

Pulizia

Prima della pulizia

Assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

Pulizia del filtro dell'aria

- Pulire il filtro dell'aria ogni volta che si sostituisce la lampada.
- Consultare "Pulizia del filtro dell'aria" per la pulizia del filtro dell'aria.

Pulizia dell'obiettivo

La superficie dell'obiettivo è trattata specificatamente per ridurre la riflessione della luce.
Una manutenzione non corretta può ridurre le prestazioni del proiettore, pertanto, prestare attenzione a quanto segue:

- Non toccare l'obiettivo. Per spolverare l'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non usare un panno umido, soluzione di detersivo o diluente.
- Pulire l'obiettivo delicatamente con un panno morbido come un panno per la pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Rimuovere le macchie ostinate con un panno morbido, come un panno per la pulizia o per i vetri, leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare mai solventi quali alcol, benzene o diluente, né detergenti alcalini, abrasivi o acidi, né panni per pulizia contenenti agenti chimici, poiché possono danneggiare la superficie dell'obiettivo.

Pulizia dell'apparecchio

- Pulire delicatamente l'apparecchio con un panno morbido e asciutto. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata, quindi asciugare con un panno morbido asciutto.

- L’uso di alcol, benzene, diluente o insetticida può danneggiare la finitura dell’apparecchio o rimuovere le indicazioni su di esso. Non utilizzare queste sostanze chimiche.
- Non sfregare l’apparecchio con un panno macchiato, per evitare di graffiarlo.
- Se l’apparecchio entra in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, la finitura potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.

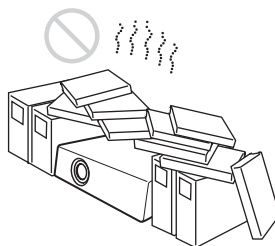
Proiettore dati a LCD

- Questo proiettore dati a LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia, potrebbero essere costantemente visibili sul proiettore dati LCD dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi). Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto.

Note sull’uso e l’installazione

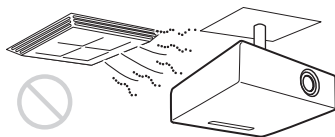
Posizioni di installazione inadatte

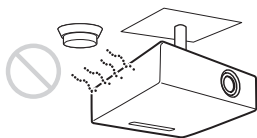
Non installare il proiettore nelle seguenti posizioni. **L’installazione in queste posizioni o ambienti potrebbe causare un malfunzionamento o guasto** dell’unità.

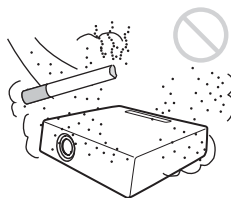
Posizioni con ventilazione insufficiente

- Fare in modo che la circolazione dell’aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l’unità su superfici (tappeti,coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le aperture di ventilazione. In presenza di surriscaldamento interno dovuto all’ostruzione delle prese di ventilazione, il sensore di temperatura interviene e l’alimentazione viene spenta automaticamente.
- Lasciare uno spazio maggiore di 30 cm intorno all’unità.
- Fare attenzione che particelle di polvere, di carta o similari non vengano aspirate dalle aperture di ventilazione.

Caldo e umido

- Non installare l'unità in una posizione dove la temperatura o l'umidità è molto elevata o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.

Posizioni esposte a flusso diretto di aria fresca o calda proveniente da un condizionatore

Installando il proiettore in tali posizioni, potrebbe verificarsi un malfunzionamento dell'unità causato dalla condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.

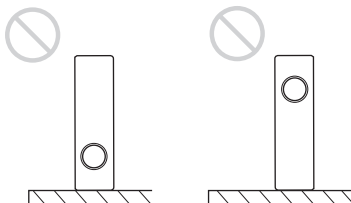
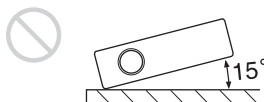
Vicino a un sensore di calore o di fumo

Potrebbe verificarsi un malfunzionamento del sensore.

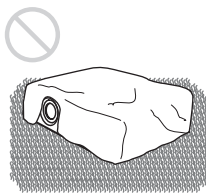
Posizioni molto polverose o estremamente fumose

Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità. La polvere che impedisce il passaggio dell'aria attraverso il filtro potrebbe causare un aumento della temperatura interna dell'unità.

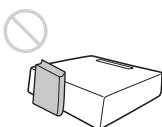
Condizioni inadatte

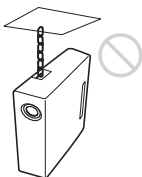
Non usare il proiettore nelle seguenti condizioni.

Non appoggiare l'unità su un lato

Non usare l'unità verticale appoggiata su un lato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Non inclinare l'unità a destra o a sinistra

Non inclinare l'unità di più di 15° e non installarla altrimenti che su una superficie in piano o appesa al soffitto. Un'installazione di questo genere potrebbe causare l'apparizione di sfumature di colore o diminuire molto la vita utile della lampada.

Non ostruire le aperture di ventilazione

Non usare un tappeto spesso o altro che ostruisca le aperture di ventilazione (scarico/aspirazione), per evitare il surriscaldamento interno.

Non mettere alcun ostacolo davanti all'obiettivo

Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Per disattivare l'immagine, usare il tasto PIC MUTING sul telecomando.

Non utilizzare la barra di sicurezza per il trasporto o l'installazione

Utilizzare la barra di sicurezza sul retro del proiettore al fine di impedire il furto, ad esempio attaccando un cavo antifurto reperibile in commercio. Se si solleva il proiettore dalla barra di sicurezza, o si sospende il proiettore usando questa barra, il proiettore potrebbe cadere o danneggiarsi.

Uso a quote elevate

Quando si usa il proiettore a una quota di 1.500 m o superiore, attivare il "Modo quota el." nel menu IMPOST. INSTALLAZIONE. Se non viene impostato questo modo e il proiettore è usato a quote elevate, potrebbero verificarsi degli effetti negativi, quale la diminuzione dell'affidabilità di determinati componenti.

Note sull'uso

Nota sul trasporto del proiettore

L'unità è prodotta con una tecnologia di alta precisione. Nel trasportare l'unità nella custodia per il trasporto, non lasciarla cadere o sottoporla ad urti che potrebbero danneggiarla. Per riporre l'unità nella custodia per il trasporto, scollegare il cavo di alimentazione c.a. e tutti gli altri cavi di collegamento o schede, quindi mettere tutti gli accessori in dotazione in una tasca della custodia.

Nota sullo schermo

Se viene utilizzato uno schermo di superficie disuniforme, potrebbe apparire talvolta un motivo a righe in funzione della distanza fra lo schermo e il proiettore o delle impostazioni di ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento del proiettore.

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为避免电击，请勿拆卸机壳。维修事宜应仅由合格维修人员进行。

警告

本机必须接地。

重要

设备铭牌位于底部。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。请按照说明处理废旧电池。

警告

1. 请使用经认可的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头，其接地接头应符合各国家适用的安全法规。
2. 请使用符合特定额定值 （电压、安培）的电源线 （3 芯电源线） / 设备接口 / 插头。

如果对上述电源线 / 设备接口 / 插口的使用有疑问，请垂询合格维修人员。

使用前须知

安全须知

• 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
• 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请专业技术人员检查后再使用。
• 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
• 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
• 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
• 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
• 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
• 请不要将手或物品放在通风孔附近。排出的空气较热。
• 小心不要让手指卡在调节器里。
• 请不要在本机下面铺放布或纸。

照明

• 为了获得最佳图像，不应该让屏幕的前面暴露在直射照明或阳光下。
• 推荐使用安装在天花板上的聚光灯照明。使用盖子遮盖荧光灯以防止对比度下降。
• 用不透明的帷幕遮盖所有面向屏幕的窗户。
• 建议将本机安装在地板和墙壁未采用反光材料的房间里。如果地板和墙壁采用反光材料，建议将地毯和壁纸换成暗色。

防止内部蓄热

本机配备有通风孔 （进气）和通风孔（排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏投影机。

清洁

清洁以前

请务必从 AC 插座上拔掉 AC 电源线。

清洁空气滤网

• 请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。
• 清洁空气滤网时请参见 “清洁空气滤网”。

清洁镜头

镜头表面经过特别处理，可以减少光线反射。
由于不当维修可能危害到投影机的使用性能，所以请注意下述事项:
• 请勿触摸镜头。要清除镜头上的灰尘时，请使用干燥的软布。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
• 擦拭镜头时要轻柔，并请使用软布（如清洁布或玻璃清洁布）来擦。
• 对于顽固污渍，请用略微蘸水的软布（如清洁布或玻璃清洁布）来清除。
• 不要使用酒精、苯或稀释剂等溶剂，不要使用酸、碱或研磨类洗涤剂，也不要使用化学清洁布，因为这些物质会损坏镜头表面。

清洁机壳

• 要用柔软的干布来清洁机壳。对于顽固污渍，可用稍蘸中性洗涤剂的布来清除 , 再用柔软的干布擦拭。
• 酒精、苯、稀释剂或杀虫剂的使用可能会损害机壳的表面光滑，破坏机壳上的标记。切勿使用这些化学物质。
• 如果您用污布摩擦机壳可能导致划痕。
• 如果假如机壳长期接触橡胶或乙烯树脂产品，可能破坏机壳光滑，或者引起保护层的脱落。

LCD 数据投影机

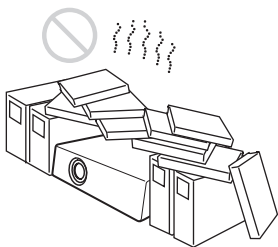
• 本 LCD 数据投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 数据投影机的图像上持续显示微小的黑点和 / 或亮点 （红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。

CS

有关安装和使用的注意事项

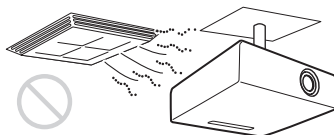
不当安装

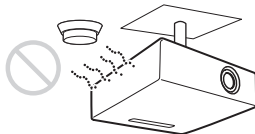
请不要在下列场合安装投影机。**在这些场合或场所安装可能会引起故障或损坏**本机。

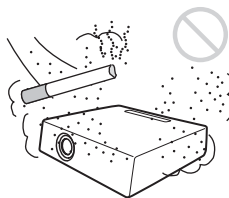
通风不良的场所

- 应保持通风良好以防止内部蓄热。请不要将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面（垫子、毯子等）或附近（窗帘、帷帐）。当由于通风孔堵塞而造成内部蓄热时，温度传感器会工作并自动关闭电源。
- 请在本机周围留出大于 30 cm 的空间。
- 小心不要让通风孔吸入诸如纸片或聚积的灰尘一类的微小物体。

热和潮湿

- 请避免将本机安装在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所。
- 为了避免水气凝结，请不要将本机安装在温度可能会急剧上升的场所。

受空调的冷暖风直接吹拂的场所

在这样的场所安装投影机可能会由于水气凝结或温度升高而导致本机故障。

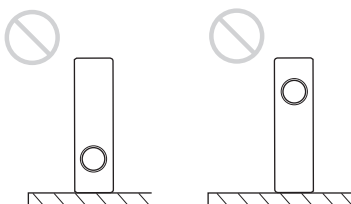
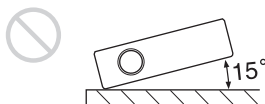
高温或烟雾传感器附近

可能会造成传感器失灵。

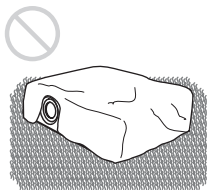
多尘、多烟雾的场所

勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。

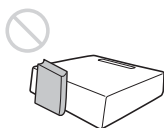
不合适的条件

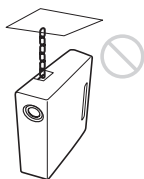
请不要在下述条件下使用投影机。

请不要将本机侧放

勿将本机侧放使用。这可能会引起故障。

请不要向右或向左倾斜本机

请勿将本机倾斜 15 度的角度，除了在水平表面放置或从天花板上悬挂以外，请勿使用任何其它方法安装本机。这样的安装可能会造成彩色阴影或极度缩短投影灯寿命。

请不要堵塞通风孔

请勿使用厚毛地毯或其他物品遮盖通风孔 （排气 / 进气）；否则可能会造成内部热量蓄积。

请不要在镜头面前放置遮挡物品

请勿在投影期间在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。来自光线的热量可能会造成物品损坏。按遥控器上的 PIC MUTING 键消除图像。

运输或安装本机时，请勿动用安全销

投影机后部的安全销是用于防盗，比如在上面安装市售的防盗安全缆，即可达到此目的。如果手持安全销举起投影机，或利用安全销悬挂投影机，都可能导致投影机的坠落或损坏。

在高海拔地区使用

当在海拔 1,500 m 或更高的地区使用投影机时，请打开安装设定菜单中的 “高海拔高度模式”。
当在高海拔地区使用投影机时，如果没有设定此模式，可能会产生不利的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

使用说明

关于搬运投影机的注意事项

本机使用高精密度技术制造。当运输存放于软包内的本机时，切勿令本机掉落或使其遭受撞击，因为这样可能会造成损坏。当将本机存放于软包中时，请断开交流电源线以及所有其它连接着的电缆或导线，并将随机附带的附件保存在软包的口袋里。

关于屏幕的注意事项

当在不平整的表面上使用屏幕时，根据屏幕与投影机之间的距离或变焦放大倍数的设定的不同，偶尔可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非投影机的故障。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in China